

# 来週の '売り物'、記事はこれ



2016年3月4日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 6日 東日本大震災 大川小遺族の歩んだ5年 6日(日)



東日本大震災による大津波に襲われた宮城県石巻市の大川小学校＝写真＝は、児童74人と教職員10人が死亡、行方不明となりました。発生直後に現地入りした記者は、6年生だった次女と2年生だった長男を失った加納美雄さん(41)と出会い、以来、取材を抜きにした静かな交流



を続けてきました。「自分は(子供を)迎えるに行かなかった。そこまで危険と思っていなかった」。そう繰り返す加納さんに、親しくなればなるほど胸の内を聞けませんでした。あの日から丸5年を迎えるこの春。加納さんが胸の奥にしまい込んできた父の思いと、記者は正面から向き合います。「最近も(夢に子供が)出てこない。でも、見るときは今でも同じ。またいなくなるというのが分かっている……、声をかけられない」。初めて見る父の涙でした。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

### 今なぜ「角栄ブーム」？

#### 相次ぐ関連本の出版。人気の秘密を探る

夕刊2面特集ワイド 7日(月)



出版界は今、ちょっとした「角栄ブーム」になっています。田中角栄元首相＝写真＝に関する本が相次いで出版され、昨年はタイトルだけで見ても9点、今年も既に3点上るといえるのです。今太閤、そして庶民宰相ともてはやされながら、最後は一転して巨悪、金権政治家とたたかれて失脚した田中氏。没後20年あまりを経た今、なぜそこまで注目を集めるのでしょうか。田中氏を間近で見た元首相番記者や田中氏に関する著作がある識者らを訪ね、人気の秘密を探りました。

### 衣・ペールトーンで春の装い 暮らしナビA面 8日(火)

寒さが緩んできたら、装いに春らしさを加えて、新しい季節を感じたいものです。「パステルカラーは自分のイメージに合わない」と敬遠してきた方も、今季はシャープな色味のものが多く、甘さが抑えられ、チャレンジしやすいそうです。パステルカラー、淡いグレー、ベージュなどの「ペールトーン」を取り入れたコーディネートにスタイリストに教えてもらいました。



### 「あの日 これから」東日本大震災5年

暮らしナビA面 9日(水)から3回



東日本大震災の直後は、身近な備えや災害時の対応に関心が集まりました。あれから5年。そうした危機感は薄れているようにみえます。首都直下や南海トラフの巨大地震も想定される中、人々の備えは今どうなっているのでしょうか。東日本大震災の体験、経験を踏まえ、避難態勢や情報伝達・安否確認、災害支援など、身近なところから検証します。

震災被害に寄り添いたい

## 映画監督 山田洋次さん

オピニオン面 [そこが聞きたい] 9日(水)

家族であることの喜びと悲しみを主題に、作品を撮り続けている山田洋次さん(84) =写真。昭和から平成に時代は移ろい、家族の姿は微妙に変わってきたと感じると言います。阪神大震災、東日本大震災という「国民的悲劇も無縁ではない」とも。そして、「五輪よりも大切なことがあるはず。忘れてはならない」と嘆じます。震災の犠牲者と被災者のことです。名匠の話にじっくり耳を傾けました。

時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。



## センバツ組み合わせ抽選会

11日(金)夕刊・12日(土)朝刊



20日に兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕する「第88回選抜高校野球大会」(毎日新聞社、日本高校野球連盟主催)の組み合わせ抽選会が11日午前、毎日新聞大阪本社オーバルホールで開かれます。出場校は▽一般選考29校▽21世紀枠3校、の計32校。最多出場は龍谷大平安(京都)で4年連続40回目。28回目の東邦(愛知)、26回目の高松商(愛媛)など常連校のほか▽札幌第一(北海道)▽いなべ総合(三重)▽滋賀学園(滋賀)▽明石商(兵庫)▽長田(兵庫)▽小豆島(香川)の6校が初めてセンバツの舞台に立ちます。夢の甲子園で対戦する相手は? 運命の瞬間。抽選会に臨んだ主将の表情や、組み合わせを踏まえた大会の展望などをお届けします。

## 疎開、宝塚時代、そして喜劇

朝刊文化面 12日(土)

宝塚歌劇団の娘役として舞台生活をスタートし、60年を越す芸歴を持つ女優、浜木綿子さん(80) =写真=が「創作の原点」に登場します。浜さんは今年6、7月には東京を皮切りに各地で主演作品「新版喜劇 極楽町一丁目」の公演を行うなど一線で活躍し続けています。戦時中の小学生時代には辛い疎開生活も体験しました。疎開、宝塚時代の思い出、愛してやまない喜劇について語ります。

